

とうわ  
**藤和けんこう通信**



2015年12月号 VOL.62

就職ガイダンスに参加

発行元：藤和マッサージ（訪問マッサージ・はりきゅう）  
相模原院042-855-0420 町田院042-851-7528 海老名院046-204-5482

地域イベントに積極的に参加させていただきます！



11月24日、町田市第2高齢者支援センター主催にて家族介護者向けの講演会『東洋医学でからだ楽～らく』が開催されました。町田市訪問マッサージ連絡会を代表して、当院の鍼灸マッサージ師である大野佑介氏が講師を務めさせていただきました。当日は講演だけでなく、参加された方が実際に体を動かして実技も交えながら東洋医学の話をさせていただきました。参加者の皆様から好評の声を頂き大変喜んで頂けました。

☆☆地域や施設のイベント等に積極的に参加させていただきます☆☆



平成27年11月24日(火) 14:30～開始  
**東洋医学で  
からだ楽～らく**  
会場：湧和 1階カラオケルーム  
(本町田高齢者住宅リービズセンター)  
\*開始時間までこちらで  
お待ちしております  
主催：町田第2高齢者支援センター

温罨法(ホットパック)を導入しています



当院では、一部の患者様に温罨法を導入しております。暖かくぽかぽかとても気持ちよいですよ☆どうぞ皆様お試しください。  
冬場の寒いこの時期に効果的です！

何事も思いやりを持って対応します！



池田裕美 馬場悦子 野々村颯 佐藤文子 石井武司 若本大輔 大野佑介 長谷川佳汰 代永涼子 栗原賢 岡本尚弥 尾崎弘康 細田篤矢 小形紗織  
須藤 新 長谷川加代 佐藤浩嗣 板垣 鋭司 榎本多佳子 小木野貴史 近藤マチ子 岩本友保 石井 旭 中村匡志 矢部恵 袴 濤平 渡邊真之 添田真理子

## 院内研修会を開催 膝痛について



11月24日火曜、海老名院・岡本尚弥さんが講師となり、技術研修会を開催しました。今回のテーマは『膝痛』という事で、高齢者にも多い膝痛についての触診や治療方法について講義がありました。特に関節の内圧を下げ痛みを取り除くのに有効な『関節モビリゼーション』について、皆さん注意深く聞き入っていました。

## 相模原市医療介護事業者交流会



11月14日土曜、相模原市けやき会館にて、相模原市の医療介護の関係者の交流会が開催されました。当院からは、7名のスタッフが参加させていただきました。年に一度のイベントとして、当日は350名もの参加者で会場は熱気にあふれていました。普段なかなかゆっくりとお話する機会がない外部の方たちと、ゆっくりと話をすることができて大変有意義な時間となりました。自分たちの住んでいる、この地域を良くしていきたいという志がある方たちと出会えた事が大きな収穫でした。

## 就職ガイダンス 参加しました



11月6日金曜、神奈川衛生学園にて学生向けの就職ガイダンスが開催され、当院から海老名院の営業石井武司・学園卒業生の岡本尚弥が参加しました。当日は30社近くの企業がブースを出して、学生が興味のあるところに聞きに来るといって行われました。現役の学生の生情報がきけて今後の採用活動の糧になりました。

## 冬場の風邪・インフルエンザ予防策

- ①洗面所をお借りして手洗い・うがいを行う場合があります。
  - ②マスクの着用して施術する場合があります。
- ※感染予防の為ご理解・ご協力お願い致します。





## 診療報酬マイナス改定へ／社会保障費1700億円抑制

(2015年11月30日読売新聞)

政府は、医薬品の値段(薬価)や、医師、薬剤師らの技術料の価格(本体)を見直す2016年度の診療報酬改定で、全体の改定率をマイナスとする方向で調整に入った。16年度予算編成の焦点である社会保障費の抑制は、目標とする約1700億円の抑制分をほぼ診療報酬のマイナス改定でまかなう考えだ。

診療報酬改定はほぼ2年に1度実施される。全体の改定率がマイナスになれば8年ぶりだ。厚生労働省による16年度予算の概算要求では、医療、年金、介護などの社会保障費は15年度予算より約6700億円増える。要因は、高齢化や、医療が高度化していることなど様々だ。政府は財政再建を着実に進めるため、高齢化で避けられないとされる年約5000億円増にとどめる方針だ。差額となる約1700億円の抑制は、〈1〉市場の実勢価格に応じて薬価を約1400億円引き下げ〈2〉本体を約300億円引き下げる——ことによって実現させる方針だ。改定の議論は今後本格化するが、最終的に1700億円に満たない場合、一部を高額療養費制度の見直しなど医療制度改革で賄うことも検討する。社会保障費の抑制は毎年度大きな課題だが、大半を医療関連だけで捻出するのは異例だ。本体の改定では、大病院前に立地する「門前薬局」など院外処方薬の薬局を対象に、薬剤師の技術料である調剤料を引き下げる方向で調整している。

## 介護休業給付、67%に引き上げ…離職ゼロ目指し育休と同水準に

(2015年11月19日読売新聞)

介護のために仕事を休む人に雇用保険から給付される介護休業給付について、厚生労働省は、現在は休業前の賃金の40%としている給付率を、育児休業中の給付と同じ67%に引き上げる方針を固めた。

安倍政権が掲げる「介護離職ゼロ」の一環で、経済的な支えを手厚くすることで介護休業の利用を促し、仕事と介護の両立を進める狙い。来年の通常国会で雇用保険法改正を目指す。急速な高齢化により、介護を必要とする人は増え続けている。要介護認定者は2014年4月時点で586万人に上り、介護保険制度が始まった00年4月の3倍近い。

総務省の12年の調査では、家族を介護しながら働いている人は約239万人で、特に50歳代が多い。しかし、介護休業を取得する人は3.2%(男性3.5%、女性2.9%)にとどまり、過去5年で40万人以上が介護や看護のために離職している。

## 認知症徘徊で列車事故、「妻に責任」判断見直しへ…最高裁

(2015年11月11日読売新聞)

認知症男性が徘徊して列車にはねられた事故で、介護する家族が鉄道会社への賠償責任を負うかが争われた訴訟の上告審で、最高裁第3小法廷(岡部喜代子裁判長)は、原告、被告双方の意見を聞く弁論を来年2月2日に開くことを決めた。2審は男性の妻に賠償を命じたが、介護者支援団体などは「介護する家族らの負担が重すぎる」と批判している。最高裁が弁論を開くことで、年度内にも言い渡される判決では2審の判断が見直される見通し。認知症高齢者が起こした事故などに対する親族の監督責任について、最高裁がどう判断するか注目される。1、2審判決によると、愛知県大府市の男性(当時91歳)は2007年12月、同居の妻(同85歳)がうたた寝をしている間に自宅を出て、JR東海道線の駅構内で列車にはねられ死亡した。JR東海は列車の遅れなどに伴う約720万円の損害賠償を男性の妻や子供らに求めた。13年8月の1審・名古屋地裁判決は、妻に加えて横浜市在住だった長男の監督義務も認定し、2人に全額の賠償を命令。昨年4月の2審・名古屋高裁判決は、長男の賠償責任を否定し、妻の賠償額は360万円に減額した。これに対し、妻は賠償命令の破棄を求め、JR東海は1審通りの判決を求めてそれぞれ上告している。

無料体験マッサージ、いつでもお気軽にどうぞ  
【医療保険適応 訪問マッサージ・はりきゅう】

発行元

とうわ

藤和マッサージ  
Towa Massage

相模原院 ☎042-855-0420  
町田院 ☎042-851-7528  
海老名院 ☎046-204-5482

相模原市南区南台4-13-23-1階  
町田市森野4-17-23-2階-B  
海老名市中央3-3-13-202